

憲法9条を変えて、  
「戦争する自衛隊」にして  
いいのですか(憲法会議・発行)

# あまがせ保育園の廃止計画に反対

## 「びたっ子」子育て応援プランとの矛盾を指摘

日隈市議は8日、あまがせ保育園の廃止計画に反対する立場を明らかにして一般質問。この中で「子ども・子育て応援プラン」との矛盾を指摘し、市長の政治姿勢をただしました。

市は昨年3月、あまがせ保育園を2019年度に廃止する計画を決めました。天ヶ瀬温泉で旅館や商店をやっている保護者や、勤め先の事情で利用しているママから、「他の保育園に変わると言われても、子どもの送り迎えが大変」「仕事で遅くなるときは、おじいちゃん、おばあちゃんに子どもを迎えに行ってもらってた」など、子育ての不安が出ています。

日隈市議は「19年度に廃止する方針に大きく関わった市の計画が2つある」とパネルを使って説明しました。その計画とは、第4次行政改革と公共施設等総合管理計画です(下の図)。

公共施設等総合管理計画の検討委員会では、委員から「あまが

せ保育園を廃止することによって困る家庭があれば、継続しないといけない」という意見が出されています(16年10月27日)。このとき市は、「第4次行政改革の中で入園児数が10人を下回る場合は廃園を検討する」と決めたことを強調し、理解を求めています。

日隈市議は「子ども子育て応援プランにある小規模保育事業などの拡充方針は、なぜ説明しなかったのか」と質問。企画振興部長は「担当部局は出席していない。その事情について会議の中で出てこなかった」と答えました。

市長は、施政方針で「市民が安心して快適に暮らすことができれば、この日田市を持続可能なまちにしたい」と述べました(2

2013 2014 2015 2016 2017 2018 2019 2020

第4次行政改革  
(平成25年～29年)

第5次行政改革  
(平成30年～39年)

子ども・子育て応援プラン  
(平成27年～31年)

まち・ひと・しごと総合戦略  
(平成27年～31年)

公共施設総合管理計画  
(平成28年～37年)

月26日)。日隈市議は「その思いは伝わっていなかったということか」と質問。市長は、「取り組みはしているが、結果につながっていない」「説明をしながら議論が進んでいくだろう。結果を待ちたい」と答えることになりました。

# 人事院勧告を反映させているというけど

ごみ・し尿  
収集委託料

## 月額約24万円(平均年齢47歳)で計算

日隈市議は8日、ごみ・し尿の収集業務をする労働者の「給料が安い」「バイトをしないと暮らせない」との訴えを示し、業務委託料(人件費を含む)の計算根拠を問いました。

市は、「ごみ・し尿を回収し処理場に運ぶ業務を4つの会社に委託しています。その委託料は、平成30年度日田市一般会計予算で5

億8521万円です。日隈市議は2月2日、委託料原価計算書の情報公開を求めました。しかし、23日に公開された計算書は、人件費を計算する金額が黒塗りで、知りたいことは何もわかりません。

そこで、2年前の決算審査特別委員会に出された資料で業務委託料の計算根拠を質問。市民環境部

長は「し尿の収集作

業員は2763800円(平均47.2歳)、ごみ収集作業員は240606円(平均47.3歳)」と答えました。

日隈市議は「公共サービスで働いている方に、安心して暮らせる金額を払っていると言えぬか」と質問。市長は「いま、初めてそういう状況だということを聞いた。なぜそのような判断をされたのか、詳しく聞いてみたい」と答えました。

日隈市議は「市長もよくわからないけど、約6億円の当初予算がこの議会に出されている。バイトしないと暮らしていけないという訴えを聞いている。市がこの計算でいいかどうか」と迫りました。



▶ 決算審査の資料をもとに追及する日隈市議(8日)